

兄の妓夫太郎は、遊郭最下層の家庭で生を受けます。

食べ物が無いので鼠や虫を捕らえて命を繋いでいました。

それに加えて妓夫太郎の容姿は醜くいために、美が基準の遊郭では化けもの扱いかされていきました。貧困に苦しみ、そのために母親から何度も殺されかけました。

妹の墮姫の元々の名前は、「梅」ですが、ひどいことに母親の病名「梅毒」から名づけられました。

梅は、妓夫太郎と違い美貌を持って生まれました。

梅の生まれは遊郭ですので、成長し13歳になった頃には遊郭でお客をとることになりますが、そこでお客に抵抗し、持っていたかんざしでお客の目を突き失明させます。

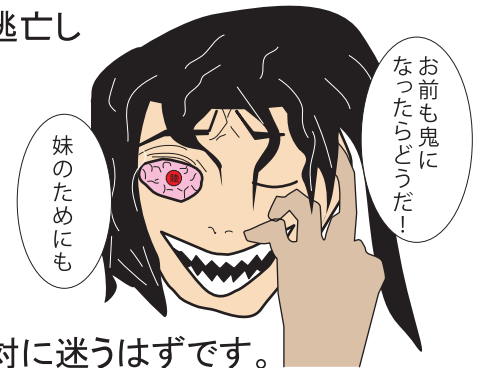
客は逆上し、報復に梅に火をつけます。

仕事から帰った妓夫太郎は、丸焦げになり息がまだある梅を見つけて抱きかかえて泣き叫びます。

客は報復を恐れ、梅を抱えて泣いていた妓夫太郎を背後から刀で切りつけます。兄の妓夫太郎

妓夫太郎は絶命せず、報復として侍を殺害した後に妹を背負いながら逃亡しますが、出血により今にも力つきそうです。

その一部始終を見ていた鬼は、「鬼になれば二人とも生き残れる」と提案し、決断をせまります。



どうでしょう？

このような生き立ちで、このような状況なら神様の使いでもなければ絶対に迷うはずで

結果、この兄妹は「幸せそうな他人を許さない」と誓い、鬼になることを選択しました。

「鬼にもなれば仏にもなる」ということわざがあります。

温厚でやさしい人物でも状況に応じて、鬼のようになるという意味です。

何か悪いことをしている人は、何かその原因が過去にあったかもしれません。

でも、理由があるからといって、鬼のように無関係な人に危害を加えるのは絶対に許せないことです。

鬼にならない為にできること、考えてみました。

- ①自分勝手にしない。
- ②許す。
- ③期待しない。

愛の表現と似ていますね。

「他人を自分のことのように愛する。」ということも聞いたりしますよね。

「右の頬を殴られたら左の頬を差し出さない」：イエスキリスト

そんなこと「できるか！」って話ですが、それをしないと鬼に近づきそうです。

イエスキリストは、他人の業を受け持つために十字架を背負ったそうです。

一般人の私には、それは無理です。では、鬼になるのか？

それもキャンセル願いたい。



画像yahooショッピングより

毀滅の刃に出てくるほとんどの鬼は、自分勝手なことはしていても、悲しみを背負っています。

鬼になって毎日悲しく過ごしたくありません。